



平成 17 年 10 月 17 日

各 位

会 社 名 株式会社東邦システムサイエンス
代表者名 代表取締役社長 渡邊 一彦
(JASDAQ・コード番号 4333)
問合せ先 取締役管理本部長 高橋 誠
(TEL. 03-3868-6060)

業績予想の修正（中間・通期）に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 5 月 27 日の決算発表時に公表した平成 18 年 3 月期（平成 17 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 3 月 31 日）の中間期及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 18 年 3 月期中間連結業績予想数値の修正（平成 17 年 4 月 1 日 ～ 平成 17 年 9 月 30 日）
(単位：百万円、%)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	2, 5 8 0	2 0 0	1 1 0
今 回 修 正 予 想 (B)	2, 6 0 3	2 7 8	1 6 0
増 減 額 (B-A)	2 3	7 8	5 0
増 減 率 (%)	0. 9	3 9. 0	4 5. 5
(ご参考) 前期実績 (平成 16 年 9 月中間期)	1, 8 6 3	6 3	3 2

2. 平成 18 年 3 月期中間業績予想数値の修正（平成 17 年 4 月 1 日 ～ 平成 17 年 9 月 30 日）
(単位：百万円、%)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	2, 5 6 0	1 9 2	1 0 8
今 回 修 正 予 想 (B)	2, 5 8 6	2 6 8	1 5 6
増 減 額 (B-A)	2 6	7 6	4 8
増 減 率 (%)	1. 0	3 9. 6	4 4. 4
(ご参考) 前期実績 (平成 16 年 9 月中間期)	1, 8 3 6	6 0	3 2

3. 平成 18 年 3 月期連結通期業績予想数値の修正（平成 17 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 3 月 31 日）
（単位：百万円、％）

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	5, 3 0 0	4 3 0	2 4 0
今 回 修 正 予 想 (B)	5, 3 0 0	4 7 0	2 6 0
増 減 額 (B－A)	—	4 0	2 0
増 減 率 (％)	—	9. 3	8. 3
(ご参考) 前期実績（平成 17 年 3 月期）	3, 7 3 0	2 5 5	1 1 2

4. 平成 18 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 17 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 3 月 31 日）
（単位：百万円、％）

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	5, 2 5 0	4 1 4	2 3 2
今 回 修 正 予 想 (B)	5, 2 7 0	4 5 0	2 5 2
増 減 額 (B－A)	2 0	3 6	2 0
増 減 率 (％)	0. 4	8. 7	8. 6
(ご参考) 前期実績（平成 17 年 3 月期）	3, 6 7 7	2 2 8	9 6

5. 修正の理由

(1) 単独業績予想

当中間期は、平成 17 年 4 月 1 日付の株式会社中野ソフトウェア・エースとの合併を機に、合併効果の最大化及び事業規模の拡大に向け取り組んだ結果、売上高は概ね計画通りに推移いたしました。

一方、利益面では、品質の向上及びプロジェクト運営体制の強化を目的として、期初からプロジェクト点検を中心とした PMO（プロジェクト・マネジメント・オフィス）活動の浸透に努めたことにより、原価率の低減が推進され、販管費も計画を下回る見込みであることから、経常利益及び中間純利益が前回発表予想値を上回る見通しとなりましたので、業績予想を修正することといたしました。

また、通期の業績につきましても、売上高は期初の計画水準で推移するものと予測しておりますが、利益面では下半期については若干の利益率の低下が予想されるものの、概ね堅調に推移するものと予想されることから、通期業績予想を修正することといたしました。

(2) 連結業績予想

連結業績予想の修正は、主に単独業績予想の修正によるものであります。

以 上

（注）この資料に記載しております売上高および利益の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。

従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高および利益は当該予想とは異なる結果となることがあります。